



川口けいすけのグリーンス川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会議員控え室
TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

78
SINCE2003

9月議会川口の一般質問より・・・学童保育の諸課題について



学童保育室は近年、入室希望数の増加と、法改正により対象が6年生まで拡大したことによる児童数の増加が、全国的な傾向となっています。現在の川越市の学童保育は、公設公営により小学校敷地内に設置されていますが、児童数の増加により狭く、指導員の確保も困難なことなど、多くの課題を抱えています。そして、これらの指摘は私だけでなく、多くの議員が何度となく指摘を繰り返してきました。

そこで今回の一般質問では、主にこれら以外の諸課題について改善を求めるとともに、平成19年の12月議会での私の提言後導入された、責任者制度の今について考え方を聞きました。(詳細は報告会にて)

小学校児童数に対する学童保育室入室児童数の割合 (4月時点)

28年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体平均
	25.4%	20.9%	16.3%	9.9%	3.9%	1.4%	13.1%
29年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体平均
	28.5%	22.3%	17.5%	11.1%	5.1%	1.7%	14.6%
30年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体平均
	27.9%	25.5%	17.8%	11.7%	5.4%	1.8%	15.0%



学童には現場責任者が必要! (グリーンス川越33号参照)

Q、 (川口) 学童保育室の責任者として配置されている「室長」は1人8つずつの学童を担当しているが、学童保育室に常駐していないため、緊急時の初期対応も現場の指導員が行っている他、巡回時の滞在時間も通常5分~10分程度と少なく、学童の内情を把握しきれていないとの声が多い。常駐の責任者を配置すべきと考えるが教育委員会の考えは?

A、 (教育総務部長) 今後は、各学童保育室に常駐する責任者を配置していくことが望ましいと考えており、具体的な方策について検討を進めていきたい。

今の時代にまだパソコンなし?!

Q、 (川口) 私物で職務をされる方もいると聞く。学童保育室にパソコンを導入できないか。



A、 (教育総務部長) パソコンを導入することで事務の効率化、情報の共有、データの蓄積・分析による保育の充実等、多くの利点があると認識しているが、個人情報管理の問題もあるため、今後検討を進めていきたい。

教育委員会は学校教育に注力を!

Q、 (川口) 学童保育事業は児童福祉法に基づくものであり、生活の場を提供する事業である。中核市においては、多くの自治体で教育委員会部局ではなく市長部局で所管している。本市も、狭隘化への対応等、環境整備がなされた後には児童福祉の専門部署である子ども未来部に所管を移し、教育委員会部局は高度化、複雑化する学校教育に注力すべきではないかと考えるが市長の考えは?

A、 (市長) 本市の学童保育室では、学校との連携を重視すると教育委員会において所管するメリットが大きいと考えている。今後、他部局が所管することで保育環境の向上を図ることが可能と考えられる場合は検討が必要になると考えている。

